令和５年４月１日現在

令和5年度入学生対象

別記様式１

主専攻プログラム詳述書

開設学部（学科）名〔　総合科学部（国際共創学科）　〕

プログラムの名称（和文）	国際共創プログラム
（英文）	Integrated Global Studies

１．取得できる学位　学士（総合科学）

２．概要

国際共創プログラムでは，「学際的思考力」，「地球的展望」，「協調的行動力」を基本理念とし，コミュニケーションのための語学力の育成と，リベラルアーツ教育に立脚した専門教育を行うことで，国家や民族，文化や宗教の違いを超えて，地球的な視座から国際社会の諸課題を考えることができ，他者と協調的に行動できる人材を養成することを目的としています。

そのため，総合科学部共通科目を設けて国際社会の諸問題を考える上で基礎となる様々な学問分野の基礎的な知識や方法論を学びます。またこれを基盤として，国際共創科目において，「文化と観光」，「平和とコミュニケーション」，「環境と社会」の３つの視点で提供される科目を履修し，国際共創を実践する上で必要な知識と技能を身につけます。本プログラムでは，学生の自主性を重視した履修方法を採用しており，３つの視点からバランスよく履修することで特に中核となるべき知識と技能を獲得するとともに，学生各々の目標や関心に合わせて１つの視点の科目を重点的に履修することもできます。

また，本プログラムでは，英語を共通言語として，様々な国籍や様々な母語の学生が共に学修します。授業ではグループ・ディスカッションやアクティブ・ラーニングを多用し，国籍の異なる学生との協働作業・共同学習を英語で実践する過程で，多様な文化的・宗教的背景を持つ他者と協働できる柔軟性や協調性，異文化を尊重する姿勢，豊かな感性，英語での交渉力と発信力を修得します。

以上の能力を獲得することで，将来的には，国際機関や国際的に事業展開している日本もしくは海外企業，出身国の行政機関に就職し国際関連事業を担当することや，国際社会の抱える諸課題を研究するために日本内外での大学院に進学し，将来研究職に就くといったキャリアパスが考えられます。

３．ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

国際共創プログラムでは，「学際的思考力」，「地球的展望」，「協調的行動力」を基本理念とし，コミュニケーションのための語学力の育成と，リベラルアーツ教育に立脚した専門教育を行うことで，国家や民族，文化や宗教の違いを超えて，地球的な視座から物事を捉え，課題の発見やその背景の解明，課題克服に必要な専門的知識と思考力に立脚しつつも，学際的知識と幅広い洞察力を合わせ持つ，自主的・自律的な人材を養成します。そのことにより，立場の違う他者と協調的に関わることも可能であり，かつ，問題解決に向けて協働的に関われることができ，国際共創を実践できる能力を養成します。

本プログラムでは，以下の能力を身につけ，教育課程の定める単位数を修得した学生に「学士（総合科学）」の学位を授与します。

（１）学際的思考力：国際社会の抱える課題を文理の多角的な視点から理解・分析することができる。

（２）地球的展望：国や地域，文化や宗教，言語等の違いを超えて他者を理解し，人間社会とそれを取り巻く自然を包含した地球的視点でものごとを考察できる。

（３）協調的行動力：国際社会の抱える課題に対して，平和を希求する心を持って対応し，国際平和・人と自然の調和のために協調的・創造的に取り組むことができる。

４．カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

国際共創プログラムが掲げるディプロマ・ポリシーを達成するために，以下の教育課程を編成し，講義，実技，演習等の教育内容に応じて，アクティブラーニング，体験型学習，オンライン教育なども活用した教育，学習を実践します。

（１）国際共創プログラムでは，「学際的思考力」涵養のために，リベラルアーツ教育に立脚しながら，人間科学，社会科学，自然科学の分野を超えて，文理融合・学際的な専門教育を実施します。２年次から総合科学部共通科目を履修し，その後，国際共創科目を履修します。これらの科目は原則として１科目が８週で完結する１単位科目として実施します。多くの学問分野に触れることで，学生は幅広い知識を獲得することができます。これにより「地球的展望」の視座から事象をとらえる能力と「学際的思考力」を育成します。その際，総合科学科や他学部の授業を受け，専門性を深化させることや，他の分野についてより学際的に学修することも可能です。４年次の特別研究の作成は，十分な専門性と「学際的思考力」を具体化する実践的な教育課題とします。

（２）１年次は，語学を含む教養教育科目を履修します。また，教養教育と並行して，１年次前期に開講する専門必修科目，「国際共創へのいざないⅠ」および１年次後期に開講する「国際共創へのいざないⅡ」で，「３つの視点」，すなわち「文化と観光」，「平和とコミュニケーション」，「環境と社会」について学びます。これらの科目における講義や学生間の討論などを通じて，国際社会の抱える諸問題に対する学際的アプローチについて理解を深めます。

（３）２年次は，総合科学部共通科目を履修し，国際社会の諸問題を考える上で基礎となる様々な分野の基礎的な知識や方法論を学ぶとともに，国際共創コア科目を履修し，国際共創学を学ぶ上で基礎となるリテラシーを育成します。さらに，これらを基盤として，３つの視点で開設される国際共創科目をバランスよく履修することで，国際共創に役立つ知識・技能・思考力等を学問分野の枠を超えて幅広く学びます。また，日本語母語学生は，半年程度の留学を行い，留学先で修得した単位を自由選択科目の単位として認定します。

（４）３年次は，引き続き専門性を高める国際共創科目を履修するとともに，多文化，多国籍，異なる専門分野の学生とのグループワークを体験する問題解決演習，グローバルインターンシップ科目を履修します。ここでは，専門性を高めるために，日本語で開講される総合科学科や他学部開講科目も自由選択科目として履修することができます。他言語母語学生にとって，総合科学科で開講されている日本語による専門科目を履修することは，高度な日本語修得に有効です。

（５）４年次は，主指導教員と２名の副指導教員の指導の下，学士課程における学修の集大成として，学生が主体となり，複数分野の視点や方法を総合的に活用し，特別研究論文（卒業論文）を作成します。

（６）学修の成果は，各科目の成績評価と共に国際共創プログラムで設定する到達目標への到達度の２つで評価します。

５．開始時期・受入条件

プログラムは，入学とともに開始されます。総合科学部では，入学試験は文科系科目と理科系科目に分かれていますが，どちらの科目で入学しても，入学後の単位の修得および視点の選択に，影響はありません。教養教育科目履修にあたっては，自分の学習内容の方向性をみすえた履修計画を立案することを，学生ひとりひとりに強く望みます。

６．取得可能な資格

なし

７．授業科目及び授業内容

※授業科目は，別紙１の履修表を参照すること。

※授業内容は，各年度に公開されるシラバスを参照すること。

８．学習の成果

※別紙２の評価項目と評価基準との関係を参照すること。

※別紙３の評価項目と授業科目との関係を参照すること。

※別紙４のカリキュラムマップを参照すること。

９．卒業論文（卒業研究）(位置づけ，配属方法，時期等)

（１）特別研究の着手の条件

３年次後期終了時点で,「国際共創へのいざないⅠ」及び「国際共創へのいざないⅡ」を含む約１００単位以上を修得している必要があります。加えて，原則として日本語母語学生は，海外留学を修了している必要があります。

（２）指導教員の決定方法と決定時期

ア　指導教員は，主指導教員と副指導教員（複数名）からなります。

イ　学生は，国際共創学科の専任教員の中から（別紙５参照)，主指導教員を選びます。

ウ　学生は，３年次の９月～１０月に，現チューターと相談の上で主指導教員１名を決めます。その後，第４タームの終わりまでに副指導教員について決定します。

エ　主指導教員を変更する場合，国際共創学科教務委員会が審議し決定します。学生は，主指導教員の変更を希望する場合は, 変更を希望する教員の許可を得た上で,「特別研究主指導教員変更希望届」を提出します。

（３）特別研究開始時期

原則として，指導教員決定後に研究を着手します。

１０．責任体制

（１）ＰＤＣＡ責任体制（計画(plan)・実施(do)・評価（check)・改善（action))

ア　学部教務委員会を設置し，ここで教育課程の実施・評価を行います。

イ　総括責任者は，学部教務委員会委員長であり，副委員長がこれを補佐します。

ウ　学部教務委員会委員長および副委員長が，プログラム実施における責任を負います。

エ　評価と改善については，学部長が総責任を担います。

（２）プログラムの評価

ア　プログラム評価の観点

・　授業科目は目的達成のために体系的に適切に配置されているか。

・　授業内容は体系化の中で適切なものであるか。

・　学生は一定基準以上の目標を達成しているといえるか。

イ　評価の実施方法

・　各セメスターの最終授業終了後，履修学生にアンケートによる授業評価を行います。

ウ　学生へのフィードバックの考え方とその方法

・　個々の授業評価に関しては，教員の意見と評価結果を国際共創学科内で検討し，改善に努めます。

・　プログラム全体の評価に関しては，学部教務委員会，学部長室及び評価委員会が連携して評価を行います。

総合科学部国際共創学科履修基準表

区分	科目区分			要修得単位数		授業科目・履修方法等	単位数	履修区分	履修年次（注１）
教養教育科目	平和科目			2	44		2	選択必修	1
	大学教育基礎科目	大学教育入門		2		大学教育入門	2	必修	1
		教養ゼミ		2		教養ゼミ	2	必修	1
		展開ゼミ（注２）		(0)		１単位まで領域科目（人文社会科学系科目群及び自然科学系科目群）に算入することができる。	1	自由選択	1
	共通科目	領域科目（注３）	人文社会科学系科目群	4			1又は2	選択必修	1
			自然科学系科目群	4					
			人文社会科学系科目群及び自然科学系科目群	(14)		（注４）			
		外国語科目	英語	10		（注５）	1	選択必修	1
			日本語						
			初修外国語(ドイツ語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語，韓国語，アラビア語)						
		情報・データサイエンス科目（注６）		4		情報・データ科学入門	2	必修	1
						データサイエンス基礎	2	選択必修	
						ゼロからはじめるプログラミング	2		
		健康スポーツ科目		2			1又は2	選択必修	1
		社会連携科目		(0)		４単位まで領域科目（人文社会科学系科目群及び自然科学系科目群）に算入することができる。	2	自由選択	1
	基盤科目（注３）			(14)		（注４）	2	選択必修	1
専門教育科目	総合科学部共通科目（注７）			10	84		1	選択必修	2
	国際共創コア科目（注８）			10			1又は2	選択必修	1
	国際共創科目（注９）			28			1又は2	選択必修	2
	問題解決演習			4		問題解決演習	4	必修	3
	グローバルインターンシップ科目			5		インターンシップオリエンテーション	1	必修	2
						グローバルインターンシップ	4		
	自由選択科目（注１０）			21			1又は2	自由選択	1
	特別研究			6			6	必修	4
卒業要件単位数				128					

注１　教養教育科目の履修年次の数字は，標準履修年次を表している。なお，当該履修年次で単位を修得できなかった場合，これ以降に履修することも可能である。また，専門教育科目の履修年次の数字は履修開始年次を表しており，これ以降に開講される授業を履修することができる。

注２　卒業のために必要な科目区分ではない。本科目区分で修得した単位は，授業科目・履修方法等欄に記載の取り扱いとなる。

注３　領域科目については，日本語で開講される科目の単位を８単位まで算入することができる。基盤科目については，チュータリングを行った上で，必要に応じて日本語で開講される科目を履修してもよい。

注４　領域科目及び基盤科目から１４単位修得すること。

注５　外国語科目については，日本語母語学生は，英語６単位，初修外国語４単位を修得すること。他言語母語学生は，日本語１０単位を修得すること。英語・日本語がともに堪能と認められた場合は，初修外国語を中心に１０単位修得するものとする。各学生の外国語科目に関する履修計画は，チュータリングを行い決定する。なお，外国語科目に関する詳細な履修基準及び外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについては，学生ハンドブックの外国語科目に関する項を参照のこと。

注６　４単位を超えて履修した場合は，領域科目に算入することができる。

注７　総合科学部共通科目は，英語又は日本語で開講される。同一科目名で日本語と英語それぞれで開講される科目は，いずれか一方の単位しか認められない。また，人間科学分野・社会科学分野・自然科学分野の３分野からそれぞれ２単位以上合計１０単位修得すること。

注８　国際共創コア科目の履修に当たっては，必修科目６単位を含む１０単位を修得すること。

注９　国際共創科目の履修に当たっては，「文化と観光」，「平和とコミュニケーション」，「環境と社会」の３つの視点の科目を，バランスよく履修することが望ましい。また，各視点から６単位以上を修得すること。

注１０　（１）教養教育科目の外国語科目で要修得単位数１０単位を超えて修得した単位は，6単位まで算入することができる。

（２）専門教育科目の総合科学部共通科目で要修得単位数１０単位を超えて修得した単位は，４単位まで算入することができる。

（３）専門教育科目の国際共創コア科目及び国際共創科目それぞれで指定された要修得単位数を超えて修得した単位を算入することができる。

（４）総合科学科で開講される科目を履修し修得した単位は，１６単位まで算入することができる。

（５）留学先で修得した単位は，１６単位まで算入することができる。

（６）他学部等の授業科目を履修し修得した単位は，１０単位まで算入することができる。

別紙2

国際共創プログラムにおける学習の成果

評価項目と評価基準との関係

学習の成果			評価基準		
評価項目			極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
知識・理解	(1)	当該の個別学問体系の重要性と特性、基本となる理論的枠組みへの知識・理解	個別の学問体系の重要性と特性、基本となる理論的枠組みと特徴について体系的に十分理解し、説明できる。	個別の学問体系の重要性と特性、基本となる理論的枠組みと特徴について理解し、説明できる。	個別の学問体系の重要性と特性、基本となる理論的枠組みと特徴について概ね理解できる。
	(2)	異文化・異領域の人々に対するコミュニケーション能力の前提となる自らの言語・文化及び他の言語・文化への知識・理解	異文化・異領域の人々に対するコミュニケーション能力の前提となる自らの言語・文化及び他の言語・文化について十分理解し、適切に受発信できる。	異文化・異領域の人々に対するコミュニケーション能力の前提となる自らの言語・文化及び他の言語・文化について十分理解し、受発信できる。	異文化・異領域の人々に対するコミュニケーション能力の前提となる自らの言語・文化及び他の言語・文化について理解し、概ね受発信できる。
	(3)	個別学問体系の密接な相互関係とその重要性を認識するうえで必要な知識・理解	個別学問体系の密接な相互関係とその重要性を十分理解・認識し、適切に説明できる。	個別学問体系の密接な相互関係とその重要性を十分理解・認識し、説明できる。	個別学問体系の密接な相互関係とその重要性を理解・認識し、概ね説明できる。
能力・技能	(1)	個別学問体系に関する多様な情報源から必要な文献資料やデータを収集・解析する能力・技能	個別学問体系に関する多様な情報源から必要な文献資料やデータを十分収集し、的確に解析することができる。	個別学問体系に関する多様な情報源から必要な文献資料やデータを十分収集し、解析することができる。	個別学問体系に関する多様な情報源から必要な文献資料やデータを収集し、概ね解析することができる。
	(2)	課題の考察のために必要な理論・方法を特定する能力・技能	課題の考察のために必要な理論・方法を的確に特定し、それを十分活用できる。	課題の考察のために必要な理論・方法を的確に特定し、それを活用できる。	課題の考察のために必要な理論・方法を特定し、それを概ね活用できる。
	(3)	自らの研究成果をレポートや論文にまとめ、ゼミや研究会等で発表し、異文化・異領域の人々も理解しやすいように説明できる能力・技能	自らの研究成果をレポートや論文にまとめ、ゼミや研究会等で発表し、異文化・異領域の人々も理解しやすいように的確に説明できる。	自らの研究成果をレポートや論文にまとめ、ゼミや研究会等で発表し、異文化・異領域の人々も理解しやすいように説明できる。	自らの研究成果をレポートや論文にまとめ、ゼミや研究会等で発表し、異文化・異領域の人々も理解しやすいように概ね説明できる。
総合的な力	(1)	研究倫理と主体的な知的関心に基づき課題を発見し、解決に向けた方策を立案できる学際的思考力	研究倫理と主体的な知的関心に基づき課題を学際的に率先して発見し、解決に向けた有効な方策を学際的な視点に基づいて立案できる。	研究倫理と主体的な知的関心に基づき課題を率先して発見し、解決に向けた方策を学際的な視点に基づいて立案できる。	研究倫理と主体的な知的関心に基づき課題を発見し、解決に向けた方策を学際的な視点に基づいて概ね立案できる。
	(2)	柔軟な発想と構想力のもと、課題を考察するために必要な知識・理解と能力・技能を組合せ、地球的展望から研究する能力	柔軟な発想と構想力のもとに、課題を考察するために必要な知識・理解と能力・技能を組合せ、地球的展望から有効に発揮することができる。	柔軟な発想と構想力のもとに、課題を考察するために必要な知識・理解と能力・技能を組合せ、地球的展望から発揮することができる。	概ね柔軟な発想と構想力のもとに、課題を考察するために必要な知識・理解と能力・技能を概ね組合せ、地球的展望から発揮することができる。
	(3)	課題の克服について異文化・異領域の人々と課題を共有し、自らの考えを論理的かつ簡潔に説明した上で協力して解決に向けた研究を進める協調的行動力	課題の克服について異文化・異領域の人々と課題を共有し、自らの考えを論理的かつ簡潔に説明し、討論の中で十分指導力を発揮できる。	課題の克服について異文化・異領域の人々と課題を共有し、自らの考えを論理的かつ簡潔に説明し、討論の中で指導力を発揮できる。	課題の克服について異文化・異領域の人々と課題を共有し、自らの考えを説明し、討論の中で概ね指導力を発揮できる。

主専攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

国際共創プログラムでは，教養教育を「専門に直結する基礎知識・技術を習得する」だけではなく，「広く学問への関心を高め，ものごとを学際的・総合的にとらえられる能力の素地を培う」場であると位置づけています。習得すべき具体的な学習内容は，以下のとおりです。

・豊かな感受性・柔軟な発想，平和に関する多角的観点からの理解，分野間の相互関係の理解　など

↓

視野を広げる，視点をかえる

・語学力の習得，基礎知識の獲得，情報活用能力の習得，自らの言語・文化及び他の言語・文化の理解　など

↓

学びの土台をつくる

評価項目と授業科目との関係

別紙3

科目区分	授業科目名	単位数	必修・選択区分	開設年次	評価項目																		科目中の評価項目の総加重値
					知識・理解						能力・技能						総合的な力						
					(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		
					科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	
教養教育科目	平和科目	2	必修	1	50	1	25	1	25	1													100
教養教育科目	大学教育入門	2	必修	1									50	1	50	1							100
教養教育科目	教養ゼミ	2	必修	1									50	1	50	1							100
教養教育科目	領域科目	1又は2	選択	1	50	1	25	1	25	1													100
教養教育科目	外国語科目	1	必修	1			100	1															100
教養教育科目	情報・データサイエンス科目	2	必修	1							100	1											100
教養教育科目	健康スポーツ科目	1又は2	選択	1	100	1																	100
教養教育科目	社会連携科目	2	選択	1									100	1									100
教養教育科目	基盤科目	1～3	選択	1	100	1																	100
専門教育科目	特別研究	6	必修	4											25	10	25	10	25	10	25	10	100
専門教育科目	World Englishes（世界の英語）	1	選択	2	25	1					25	1									50	1	100
専門教育科目	Multiculturalism in Japan（日本のマイノリティ）	1	選択	2	50	1					25	1					25	1					100
専門教育科目	Japanese Buddhism（日本の仏教）	1	選択	2	40	1	30	1					30	1									100
専門教育科目	Behavioral and Health Sciences（行動と健康の科学）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Hinduism and Buddhism in South Asia（南アジアのヒンドゥー教と仏教）	1	選択	2	30	1	30	1							40	1							100
専門教育科目	Japanese Arts and Aesthetics（日本の美学と芸術）	1	選択	2	50	1			50	1													100
専門教育科目	New Media and Art（ニュー・メディアとアート）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	意味の世界Ⅰ	1	選択	2	50	1									25	1	25	1					100
専門教育科目	意味の世界Ⅱ	1	選択	2	50	1									25	1	25	1					100
専門教育科目	ニュー・メディアとアート	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	身体運動科学概論Ⅰ	1	選択	2	25	1			25	1	25	1			25	1							100
専門教育科目	身体運動科学概論Ⅱ	1	選択	2	25	1			25	1	25	1			25	1							100
専門教育科目	日本の仏教	1	選択	2	40	1	30	1					30	1									100
専門教育科目	社会心理学	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	日本のマイノリティ	1	選択	2	50	1					25	1					25	1					100
専門教育科目	認知心理学	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	南アジアのヒンドゥー教と仏教	1	選択	2	30	1	30	1							40	1							100
専門教育科目	睡眠と健康	1	選択	2	25	1					25	1			25	1	25	1					100
専門教育科目	Issues in International Sociology（国際社会学）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Topics in History of Science（科学史の諸問題）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Invitation to World Literature（世界文学への誘い）	1	選択	2	50	1									50	1							100
専門教育科目	History and Historiography（歴史と歴史学）	1	選択	2	20	1			20	1	20	1	20	1	20	1							100
専門教育科目	Anthropology of Health, Gender and Power（健康・ジェンダー・権力の人類学）	1	選択	2	30	1					20	1			20	1	10	1	20	1			100
専門教育科目	Regional Geography of the Seto Inland Sea（瀬戸内の地域地理学）	1	選択	2	40	1					30	1					30	1					100
専門教育科目	Tourism Studies（観光論）	1	選択	2					40	1	30	1							30	1			100
専門教育科目	Rural Revitalization（地域活性化）	1	選択	2					30	1			35	1			35	1					100
専門教育科目	Sustainable Agriculture and Food Systems（持続可能な農業とフードシステム）	1	選択	2					35	1	30	1					35	1					100
専門教育科目	科学史の諸問題	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	観光論	1	選択	2					40	1	30	1							30	1			100
専門教育科目	ジェンダー学Ⅰ	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	ジェンダー学Ⅱ	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	歴史と歴史学	1	選択	2	20	1			20	1	20	1	20	1	20	1							100
専門教育科目	社会福祉概論Ⅰ	1	選択	2	50	1					50	1											100
専門教育科目	社会福祉概論Ⅱ	1	選択	2	50	1					50	1											100
専門教育科目	中国伝統文化論Ⅰ	1	選択	2	40	1	30	1					30	1									100
専門教育科目	中国伝統文化論Ⅱ	1	選択	2	40	1	30	1					30	1									100
専門教育科目	環境問題と市民運動	1	選択	2	40	1			40	1			20	1									100
専門教育科目	国際社会学	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	人類学知→健康・ジェンダー・権力の人類学	1	選択	2	30	1					20	1			20	1	10	1	20	1			100
専門教育科目	農村の社会・文化・自然	1	選択	2	25	1			25	1	25	1							25	1			100
専門教育科目	Climate Change（気候変動）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Frontiers of Material Science（物質科学の最前線）	1	選択	2	50	1			50	1													100
専門教育科目	Fundamentals of Life Science（ライフサイエンスの世界）	1	選択	2	60	1			20	1			10	1			10	1					100
専門教育科目	Environment and Ecology（環境とエコロジー）	1	選択	2	50	1			50	1													100
専門教育科目	Environmental Science in Catchment Areas（流域環境学）	1	選択	2	50	1					25	1	25	1									100
専門教育科目	Natural Histories and Sciences（自然誌と自然科学）	1	選択	2	25	1			25	1									50	1			100
専門教育科目	Earth Environmental Chemistry0（地球環境化学）	1	選択	2	50	1					25	1	25	1									100
専門教育科目	環境とエコロジー	1	選択	2	50	1			50	1													100
専門教育科目	生化学概論I	1	選択	2					100	1													100
専門教育科目	生化学概論Ⅱ	1	選択	2					100	1													100
専門教育科目	多様性生態学Ⅰ	1	選択	2	50	1			50	1													100
専門教育科目	多様性生態学Ⅱ	1	選択	2	50	1			50	1													100
専門教育科目	熱力学I	1	選択	2	70	1							30	1									100
専門教育科目	熱力学Ⅱ	1	選択	2	70	1							30	1									100
専門教育科目	現代物理学入門	1	選択	2	70	1							30	1									100
専門教育科目	有機分析化学Ⅰ	1	選択	2	80	1							10	1					10	1			100
専門教育科目	有機分析化学Ⅱ	1	選択	2	80	1							10	1					10	1			100
専門教育科目	地球環境化学	1	選択	2	50	1					25	1	25	1									100
専門教育科目	Invitation to Integrated Global Studies Ⅰ（国際共創へのいざないⅠ）	2	必修	1					100	1													100
専門教育科目	Invitation to Integrated Global Studies Ⅱ（国際共創へのいざないⅡ）	2	必修	1					20	1			10	1	10	1			30	1	30	1	100
専門教育科目	Social Statistics Analysis Ⅰ（社会統計・データ分析Ⅰ）	1	必修	2	100	1																	100
専門教育科目	Social Statistics Analysis Ⅱ（社会統計・データ分析Ⅱ）	1	必修	2	100	1																	100
専門教育科目	Cross-cultural Negotiation Ⅰ（異文化交渉学Ⅰ）	1	選択	2			30	1							30	1					40	1	100
専門教育科目	Cross-cultural Negotiation Ⅱ（異文化交渉学Ⅱ）	1	選択	2			30	1							30	1					40	1	100
専門教育科目	Special English Training for Studying Abroad（英語特別演習）	1	選択	1			10	1			25	1	25	1	25	1	5	1	5	1	5	1	100
専門教育科目	Academic Presentation Ⅰ（アカデミックプレゼンテーション論）	1	選択	3	100	1																	100
専門教育科目	Academic Presentation Ⅱ（アカデミックプレゼンテーション演習）	1	選択	3	100	1																	100
専門教育科目	Academic Writing Ⅰ（アカデミックライティングⅠ）	1	選択	3							35	1	35	1			30	1					100
専門教育科目	Academic Writing Ⅱ（アカデミックライティングⅡ）	1	選択	3							35	1	35	1			30	1					100
専門教育科目	Debate Ⅰ（ディベート論）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Debate Ⅱ（ディベート演習）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	プレゼンテーション論	1	選択	2			50	1			25	1					25	1					100
専門教育科目	プレゼンテーション演習	1	選択	2			50	1			25	1					25	1					100
専門教育科目	IGS Special Topics AⅠ（IGS特論AⅠ）	1	選択	2	50	1					50	1											100
専門教育科目	IGS Special Topics AⅡ（IGS特論AⅡ）	1	選択	2	50	1					50	1											100
専門教育科目	IGS Special Topics BⅠ（IGS特論BⅠ）	1	選択	2	50	1					50	1											100
専門教育科目	IGS Special Topics BⅡ（IGS特論BⅡ）	1	選択	2	50	1					50	1											100
専門教育科目	Seminar on Social Cooperation（社会連携セミナー）	1	選択	2													25	1	50	1	25	1	100
専門教育科目	Anthropology of Globalization Ⅰ（グローバリゼーションの人類学Ⅰ）	1	選択	2	20	1	20	1	20	1	5	1	5	1	5	1	5	1	10	1	10	1	100
専門教育科目	Anthropology of Globalization Ⅱ（グローバリゼーションの人類学Ⅱ）	1	選択	2	20	1	20	1	20	1	5	1	5	1	5	1	5	1	10	1	10	1	100
専門教育科目	Contemporary Issues in International Tourism I(国際観光論I)	1	選択	2					40	1	30	1							30	1			100
専門教育科目	Contemporary Issues in International Tourism Ⅱ（国際観光論Ⅱ）	1	選択	2					40	1	30	1							30	1			100
専門教育科目	Field Seminar in Contents Tourism I(コンテンツツーリズム演習I)	1	選択	2	40	1							30	1							30	1	100
専門教育科目	Field Seminar in Contents TourismⅡ（コンテンツツーリズム演習Ⅱ）	1	選択	2	40	1							30	1							30	1	100
専門教育科目	Contemporary Philosophy I(哲学の諸問題Ⅰ)	1	選択	2	40	1					30	1			30	1							100
専門教育科目	Contemporary PhilosophyⅡ（哲学の諸問題Ⅱ）	1	選択	2	40	1					30	1			30	1							100
専門教育科目	Anthropology of Health Ⅰ（健康の人類学Ⅰ）	1	選択	2	20	1					20	1	20	1			10	1	20	1	10	1	100
専門教育科目	Anthropology of Health Ⅱ（健康の人類学Ⅱ）	1	選択	2	20	1					20	1	20	1			10	1	20	1	10	1	100

科目区分	授業科目名	単位数	必修・選択区分	開設年次	評価項目																		科目中の評価項目の総加重値
					知識・理解						能力・技能						総合的な力						
					(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		
					科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	
専門教育科目	Anthropology of the Contemporary World Ⅰ（現代世界の人類学Ⅰ）	1	選択	2					40	1					30	1			30	1			100
専門教育科目	Anthropology of the Contemporary World Ⅱ（現代世界の人類学Ⅱ）	1	選択	2					40	1					30	1			30	1			100
専門教育科目	Japanese Popular Arts and Culture Ⅰ（現代日本文化論Ⅰ）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Japanese Popular Arts and Culture Ⅱ（現代日本文化論Ⅱ）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Japanese Religious Culture Ⅰ（日本宗教文化Ⅰ）	1	選択	2	40	1	30	1					30	1									100
専門教育科目	Japanese Religious Culture Ⅱ（日本宗教文化Ⅱ）	1	選択	2	40	1	30	1					30	1									100
専門教育科目	Japanese Tourism Ⅰ（日本の観光Ⅰ）	1	選択	2			30	1			40	1					30	1					100
専門教育科目	Japanese Tourism Ⅱ（日本の観光Ⅱ）	1	選択	2			30	1			40	1					30	1					100
専門教育科目	General Introduction to Human Science B（人文学概説B）	2	選択	2	50	1					50	1											100
専門教育科目	Peace and Coexistence Ⅰ（平和共生論Ⅰ）	1	選択	2	50	1					25	1			25	1							100
専門教育科目	Peace and Coexistence Ⅱ（平和共生論Ⅱ）	1	選択	2	40	1					20	1			20	1					20	1	100
専門教育科目	Language and Thought Ⅰ（言語と思考Ⅰ）	1	選択	2	50	1	25	1					25	1									100
専門教育科目	Language and Thought Ⅱ（言語と思考Ⅱ）	1	選択	2	50	1	25	1					25	1									100
専門教育科目	Peace and Conflict Research Ⅰ（平和と紛争研究Ⅰ）	1	選択	2	70	1					10	1									20	1	100
専門教育科目	Peace and Conflict Research Ⅱ（平和と紛争研究Ⅱ）	1	選択	2	70	1					10	1									20	1	100
専門教育科目	The Japanese Culture and Peace（日本文化と平和）	2	選択	2			30	1			20	1			20	1					30	1	100
専門教育科目	Cultural Psychology Ⅰ（文化心理学Ⅰ）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Cultural Psychology Ⅱ（文化心理学Ⅱ）	1	選択	2	50	1					25	1	25	1									100
専門教育科目	Ethics, Killing and Violence Ⅰ（戦争と平和の応用倫理学 Ⅰ）	1	選択	2	40	1									40	1	20	1					100
専門教育科目	Ethics, Killing and Violence Ⅱ（戦争と平和の応用倫理学 Ⅱ）	1	選択	2	40	1									40	1	20	1					100
専門教育科目	Middle East Politics and Islam Ⅰ（中東政治とイスラームⅠ）	1	選択	2	30	1			30	1					40	1							100
専門教育科目	Middle East Politics and Islam Ⅱ（中東政治とイスラームⅡ）	1	選択	2	30	1			30	1					40	1							100
専門教育科目	Foreign Language Acquisition and Communication Ⅰ（外国語習得とコミュニケーションⅠ）	1	選択	2	25	1					25	1							50	1			100
専門教育科目	Foreign Language Acquisition and Communication Ⅱ（外国語習得とコミュニケーションⅡ）	1	選択	2	25	1					25	1							50	1			100
専門教育科目	Psycholinguistics Ⅰ(心理言語学Ⅰ)	1	選択	2	50	1					20	1	15	1	15	1							100
専門教育科目	Psycholinguistics Ⅱ(心理言語学 Ⅱ)	1	選択	2	50	1					20	1	15	1	15	1							100
専門教育科目	Conflict Resolution Ⅰ(紛争解決論Ⅰ)	1	選択	2	10	1	10	1			10	1			10	1	20	1	20	1	20	1	100
専門教育科目	Conflict Resolution Ⅱ(紛争解決論 Ⅱ)	1	選択	2	10	1	10	1			10	1			10	1	20	1	20	1	20	1	100
専門教育科目	Foundations of International Education Development Ⅰ（国際教育開発基礎論Ⅰ）	1	選択	2	70	1	30	1															100
専門教育科目	Foundations of International Education Development Ⅱ（国際教育開発基礎論Ⅱ）	1	選択	2							30	1			30	1			40	1			100
専門教育科目	Global Environmental Issues from Scientific and Social Perspectives Ⅰ（科学と社会からみた地球環境問題Ⅰ）	1	選択	2					25	1			25	1					50	1			100
専門教育科目	Global Environmental Issues from Scientific and Social Perspectives Ⅱ（科学と社会からみた地球環境問題Ⅱ）	1	選択	2					25	1			25	1					50	1			100
専門教育科目	Natural Disasters and Society Ⅰ（自然災害と社会Ⅰ）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Natural Disasters and Society Ⅱ（自然災害と社会Ⅱ）	1	選択	2	100	1																	100
専門教育科目	Environmental Economics and Policy Ⅰ（環境経済と政策Ⅰ）	1	選択	2	80	1			20	1													100
専門教育科目	Environmental Economics and Policy Ⅱ（環境経済と政策Ⅱ）	1	選択	2	30	1			30	1	20	1	20	1									100
専門教育科目	Experiments in Environmental Economics Ⅰ（実験環境経済学Ⅰ）	1	選択	2	10	1	10	1	10	1	15	1	15	1	10	1	10	1	10	1	10	1	100
専門教育科目	Experiments in Environmental Economics Ⅱ（実験環境経済学Ⅱ）	1	選択	2	5	1	5	1	5	1	10	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	100
専門教育科目	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS Ⅰ（IGS 自然科学実験法・同実験 Ⅰ）	1	選択	3	40	1			20	1			20	1					20	1			100
専門教育科目	Experimental Methods and Laboratory Work in Science for IGS Ⅱ（IGS 自然科学実験法・同実験 Ⅱ）	1	選択	3	40	1			20	1			20	1					20	1			100
専門教育科目	Introduction to Self-organization Ⅰ（自己組織化現象入門Ⅰ）	1	選択	2	40	1			20	1			20	1					20	1			100
専門教育科目	Introduction to Self-organization Ⅱ（自己組織化現象入門Ⅱ）	1	選択	2	40	1			20	1			20	1					20	1			100
専門教育科目	Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship（日本企業・社会企業研究）	2	選択	2			30	1			20	1			20	1					30	1	100
専門教育科目	Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications Ⅰ（環境物理化学Ⅰ）	1	選択	2	70	1							30	1									100
専門教育科目	Physical Chemistry of Materials and Environmental Applications Ⅱ（環境物理化学Ⅱ）	1	選択	2	70	1							30	1									100
専門教育科目	Japanese Society and Gender Issues（日本社会とジェンダー）	2	選択	2	10	1	10	1	10	1	10	1	10	1	15	1	10	1	10	1	15	1	100
専門教育科目	Family Diversity Ⅰ（家族の多様性Ⅰ）	1	選択	2	40	1							20	1	20	1	10	1			10	1	100
専門教育科目	Family Diversity Ⅱ（家族の多様性Ⅱ）	1	選択	2	40	1							20	1	20	1	10	1			10	1	100
専門教育科目	Biogeochemistry Ⅰ（生物地球化学Ⅰ）	1	選択	2	80	1			5	1			5	1			5	1	5	1			100
専門教育科目	Biogeochemistry Ⅱ（生物地球化学Ⅱ）	1	選択	2	80	1			5	1			5	1			5	1	5	1			100
専門教育科目	Inorganic and Organic Chemistry Ⅰ（無機化学および有機化学 Ⅰ）	1	選択	2	70	1							30	1									100
専門教育科目	Inorganic and Organic Chemistry Ⅱ（無機化学および有機化学 Ⅱ）	1	選択	2	70	1							30	1									100
専門教育科目	Inorganic Chemistry Ⅰ(無機化学Ⅰ)	1	選択	2	70	1							10	1			10	1	10	1			100
専門教育科目	Inorganic Chemistry Ⅱ(無機化学 Ⅱ)	1	選択	2	70	1							10	1			10	1	10	1			100
専門教育科目	Comparative Studies of Societies and Cultures Ⅰ(比較社会文化論Ⅰ)	1	選択	2	80	1					15	1	5	1									100
専門教育科目	Comparative Studies of Societies and Cultures Ⅱ（比較社会文化論Ⅱ）	1	選択	2	80	1					15	1	5	1									100
専門教育科目	問題解決演習	4	必修	3									30	1					30	1	40	1	100
専門教育科目	インターンシップオリエンテーション	1	必修	2			30	1							30	1					40	1	100
専門教育科目	グローバルインターンシップ	4	必修	2			30	1							30	1					40	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅰ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅱ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅲ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅳ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅴ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅵ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅶ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅷ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad Ⅸ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad ⅩⅠ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad ⅩⅡ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad ⅩⅢ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad ⅩⅣ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad ⅩⅤ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	IGS Study Abroad ⅩⅥ	1	選択	2～4	25	1	25	1											25	1	25	1	100
専門教育科目	Overseas Seminar for Specialized Topics（海外専門演習）	1	選択	1～4			25	1					25	1					25	1	25	1	100
専門教育科目	自由選択科目	2	選択		50	1					50	1											100

別紙４

国際共創プログラムカリキュラムマップ

※各授業科目の位置づけは別紙3を参照

学習の成果		1年		2年		3年		4年	
評価項目		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
知識・理解	当該の個別学問体系の重要性と特性、基本となる理論的枠組みへの知識・理解	○平和科目	○平和科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
		○大学教育入門	○領域科目						
		○領域科目	○健康スポーツ科目						
		○基盤科目	○基盤科目						
		○健康スポーツ科目							
	異文化・異領域の人々に対するコミュニケーション能力の前提となる自らの言語・文化及び他の言語・文化への知識・理解	○平和科目	○平和科目	○外国語科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
		○外国語科目	○外国語科目	○専門科目					
		○領域科目	○領域科目						
		○基盤科目	○基盤科目						
	個別学問体系の密接な相互関係とその重要性を認識するうえで必要な知識・理解	○平和科目	○平和科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
		○大学教育入門	○領域科目						
		○領域科目	○基盤科目						
		○基盤科目							
能力・技能	個別学問体系に関する多様な情報源から必要な文献資料やデータを収集・解析する能力・技能	○情報・データサイエンス科目		○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
						◎問題解決演習	◎問題解決演習		
	課題の考察のために必要な理論・方法を特定する能力・技能	◎教養ゼミ		○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
						◎問題解決演習	◎問題解決演習		
	自らの研究成果をレポートや論文にまとめ、ゼミや研究会等で発表し、異文化・異領域の人々も理解しやすいように説明できる能力・技能	◎教養ゼミ		○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
						◎問題解決演習	◎問題解決演習	◎特別研究	◎特別研究
総合的な力	研究倫理と主体的な知的関心に基づき課題を発見し、解決に向けた方策を立案できる学際的思考力			○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
						◎グローバルインターンシップ科目	◎グローバルインターンシップ科目	◎特別研究	◎特別研究
	柔軟な発想と構想力のもと、課題を考察するために必要な知識・理解と能力・技能を組合せ、地球的展望から研究する能力			○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
				○自由選択科目	○自由選択科目	○自由選択科目	○自由選択科目	○自由選択科目	○自由選択科目
								◎特別研究	◎特別研究
	課題の克服について異文化・異領域の人々と課題を共有し、自らの考えを論理的かつ簡潔に説明した上で協力して解決に向けた研究を進める協調的行動力			○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目	○専門科目
								◎特別研究	◎特別研究

（例）教養科目　専門基礎　専門科目　卒業論文　（◎）必修科目　（○）選択必修科目　（△）選択科目

別紙５

国際共創プログラム担当教員リスト

令和５年４月１日現在

氏　　名	職　名	備　　考
山　田　俊　弘	教授	学科長
ヴィレヌーヴ　真澄美	教授	
片　柳　真　理	教授	
金　子　慎　治	教授	
柴　田　美　紀	教授	
関　　恒　樹	教授	
フンク　カロリン	教授	
天　野　修　一	准教授	
岩　本　洋　子	准教授	
掛　江　ともこ	准教授	
河　本　尚　枝	准教授	
グラジディアン マリア ミハエラ	准教授	
張　　慶　在	准教授	
白　川　俊　之	准教授	
田　中　晋　平	准教授	
タファナー ロバート ホースト	准教授	
西　　真　如	准教授	
保　坂　哲　朗	准教授	
町　田　　章	准教授	
山　根　達　郎	准教授	
リグスビー　カーティス　アンドリュー	准教授	
渡　邊　千　穂	助教	

職名別・50音順